

鋳工業

鋳工業生産の動き

平成25年の鋳工業生産指数の年平均は114.3（平成22年=100）で、対前年比5.3%の増加となりました。

これを業種別に対前年比で見ますと、業務用機械工業13.8%、繊維工業13.1%、電子部品・デバイス工業12.5%、家具工業10.4%、その他製品工業9.2%、生産用機械工業7.4%、鋳業7.1%、食料品工業5.7%、輸送機械工業5.5%、化学工業5.2%、ゴム製品工業2.6%、はん用機械工業0.5%とそれぞれ上昇しました。一方、窯業・土石製品工業△0.1%、金属製品工業△2.2%、木材・木製品工業△2.4%、プラスチック製品工業△4.6%、パルプ・紙・紙加工品工業△4.6%、電気機械工業△5.5%、石油・石炭製品工業△6.5%、非鉄金属工業△8.0%、鉄鋼業△8.8%、電力事業△12.6%、情報通信機械工業△44.6%、とそれぞれ低下しました。

図22 鋳工業生産者製品在庫指数

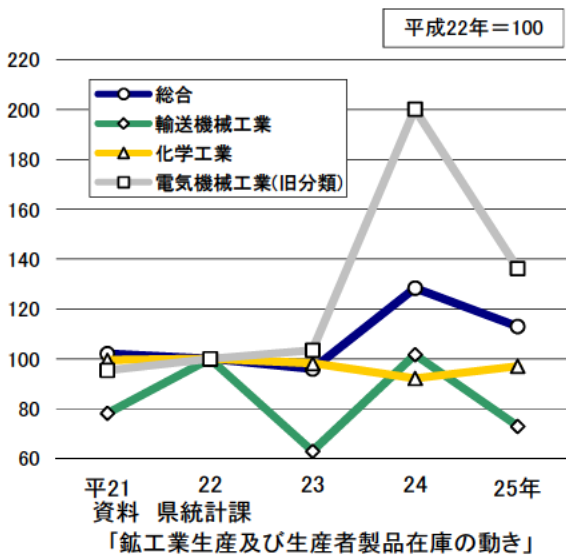
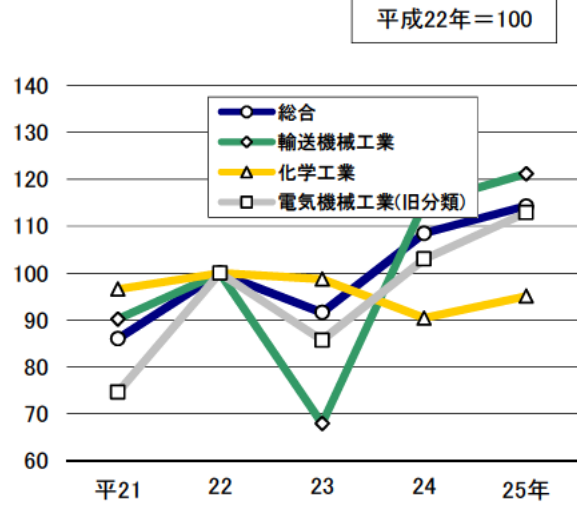


図21 鋳工業生産指数



また、平成25年鋳工業生産者製品在庫指数の年平均は113.0（平成22年=100）で、対前年比△12.0%となりました。

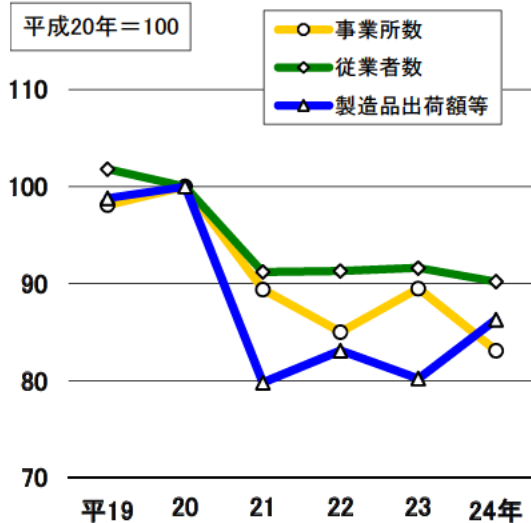
これを業種別に対前年比で見ますと、家具工業64.1%、鉄鋼業26.3%、繊維工業23.7%、パルプ・紙・紙加工品工業17.1%、ゴム製品工業14.2%、化学工業5.3%、金属製品工業5.1%、窯業・土石製品工業2.8%、はん用・生産用・業務用機械工業0.6%とそれぞれ上昇しました。一方、プラスチック製品工業△0.5%、鋳業△0.6%、食料品工業△2.3%、木材・木製品工業△3.3%、石油・石炭製品工業△10.6%、非鉄金属工業△17.0%、輸送機械工業△28.2%、電気機械工業（旧分類）△31.9%、その他製品工業△46.7%とそれぞれ低下しました。

平成24年工業統計調査結果

(1) 概況

平成24年12月31日現在の事業所数は3,893事業所、従業者数は18万7,837人、製造品出荷額等は10兆1,370億円となっています。前年と比べると、事業所数は299事業所（7.1%）減少、従業者数3,093人（1.6%）減少、製造品出荷額等は7,212億円（7.7%）増加しました。

図23 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移



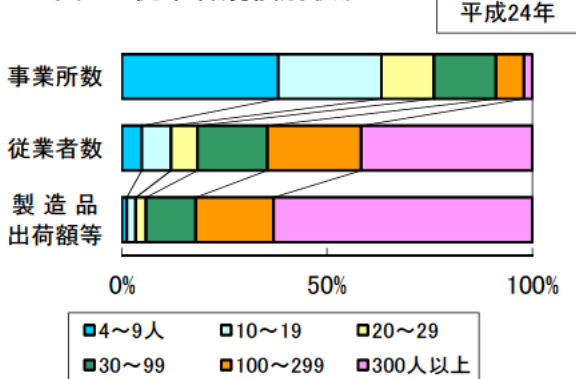
資料 県統計課「三重の工業」

(2) 従業者規模別にみた工業のすがた

平成24年12月31日現在の事業所数、従業者数及び平成24年の製造品出荷額等を従業者規模別で見ると、事業所は従業者規模の小さいものが大半で、従業者4～9人の小規模事業所が構成比で全体の38.1% (1,485事業所) を占めていますが、従業者数では全体の4.9% (9,126人)、製造品出荷額等では同1.2% (1,181億4,879万円) を占めているにすぎません。

これに対して、従業者300人以上の大規模事業所は構成比で2.0% (79事業所) ですが、従業者数では全体の41.6% (78,175人)、製造品出荷額等では同63.1% (6兆3,920億4,735万円) を占めています。

図24 従業者規模別状況



資料 県統計課「三重の工業」

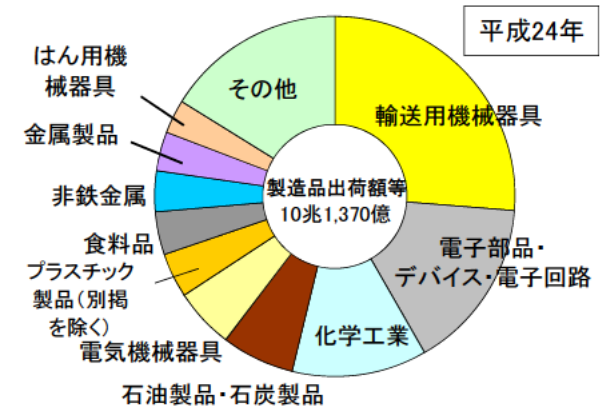
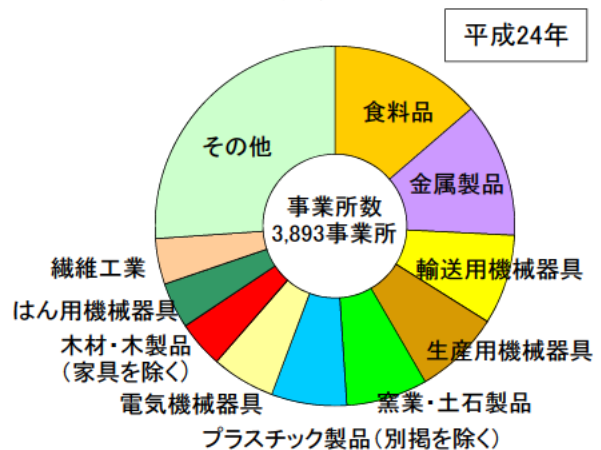
(3) 業種別にみた工業のすがた

事業所数では食料品製造業の占める割合が13.7% (533事業所) で最も高く、次いで金属製品製造業が12.2% (473事業所)、輸送用機械器具製造業が8.1% (314事業所) などとなっています。

従業者数では、輸送用機械器具製造業19.9% (37,395人)、電子部品・デバイス・電子回路製造業10.0% (18,822人)、食料品製造業8.8% (16,562人) などとなっています。

製造品出荷額等では、輸送用機械器具製造業が26.2% (2兆6,606億円) と最も高く、次いで電子部品・デバイス・電子回路製造業が15.5% (1兆5,666億円)、化学工業12.1% (1兆2,295億円) などとなっています。

図25 業種別事業所数・製造品出荷額等



資料 県統計課「三重の工業」